

少し早い雪消えと共に、芽吹きの子節を迎える今日この頃。

21期生と保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、この先で待っているのは、6年という長い坂道です。何度も涙したり、投げ出したくなる時を乗り越えなければなりません。覚悟はできていますか。

隣に座るクラスメイトは、いつも一緒に頑張る友人です。夢の実現の日まで、皆で力を合わせ、先輩たちに続いてください。きっと、今まで気付かなかった未知の自分を発見するはずです。

さて、国際社会は激しく揺れ動き、混迷の度を増すばかりのなかに、冬季オリンピックが開催されました。日本選手の活躍が毎日、報道されました。地道な練習の積み重ねがメダルに繋がったとありました。

大切なのは真剣に努力を続ける、その姿勢です。その姿勢が必ずや正しい方向に導いてくれます。

高い志を持ってさまざまなことに、のびのびとチャレンジしてください。

私の好きな言葉を送ります。「二本ある手のどちらかは誰かのために使えるように」(永六輔さん)。

結びに、西村校長先生をはじめ教職員の皆さま、この豊かな自然と恵まれた学習環境のなか、ここ津南中等の教えの庭で、切磋琢磨して学ぼうとする俊英の新入生を、熱くご指導頂きますようお願い申し上げます。生徒にとってきっと人生を左右する出会いとなることでしょうから。

令和8年4月6日

津南町長 桑原 悠